

Hibino
on side
off side

Hibino on side off side
日比野克彦展

2013年7月20日 土 — 10月6日 日

開館時間：9:30—17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日(祝日を除く)、9/17(火)、24(火)

入館料：一般800(640)円、高・大学生・65歳以上600(480)円、
中学生以下無料※○内は20名以上の団体料金

主催：川崎市岡本太郎美術館

協力：株式会社ヒビノスペシャル

川崎市市民ミュージアム

レンゴー株式会社

日本理化学工業株式会社

川崎市岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki
川崎市多摩区枳形7-1-5 tel:044-900-9898
<http://www.taromuseum.jp>

photo by Naoto KITA

Hibino on side off side

日比野克彦展

絵画、彫刻だけでなく様々なジャンルを超えて活動した岡本太郎。岡本は1951年東京国立博物館で「縄文土器」と出会い、翌年美術雑誌『みづゑ』に「四次元との対話—縄文土器論」を発表しました。岡本はこれまでの「美術」という枠にとらわれずに「縄文の美」を最初に発見したアーティストといえるのではないでしょうか。



日比野克彦

岡本が生まれたのは、川崎市の中央に位置する高津。縄文土器が作られた時代、川崎は半分あまりが海の中でした。時を経て海岸線は徐々に後退し、また臨海部は幾度も埋め立てられ、川崎は海へと延びて発展していきました。工都とも呼ばれた川崎は、海・水際との関わりが深い都市であるといえるでしょう。

この展覧会では、岡本太郎のジャンルや枠を超えた力、多面性を継承しているアーティストである日比野克彦の様々な活動・ジャンルでの代表作を紹介するだけでなく、川崎と海の関わりをテーマに公開制作を行い、この作品を中心として展示空間が構成されます。

海・水際との関わりが深い「川崎」という都市の歴史を、縄文時代の土器や日比野の作品で表現の根源を問う実験的な展覧会です。

2011年3月11日、未曾有の大災害である東日本大震災により、改めて私たちは海・水際を持つ大きな力の恐ろしさや自然の脅威を知ることになりました。

東日本大震災では多くのアーティストが復興支援活動に関わりましたが、日比野克彦もいち早く復興支援活動を立ち上げた一人です。日比野はいつも「つくることが生きること」という考えのもと、自らの作品を作り、また様々なアートプロジェクトを立ち上げてきました。東日本大震災の復興支援として日比野が考えた「ハートマークビューイング」は、誰でもが知っていて、誰もが簡単に描ける「ハートマーク」の形の力で、参加者がそれぞれの思いを託し、気持ちの交流を目に見える形にしていくという参加型のプロジェクトです。

本展でも会期中に「ハートマークビューイング」プロジェクトが行われる予定です。また「岡本太郎現代芸術賞」の太郎賞を受賞した若いアーティストたちによる参加型ワークショップという形で、岡本太郎の精神を継承していく試みも行います。

本展への多くの方のご来館をお待ちしております。



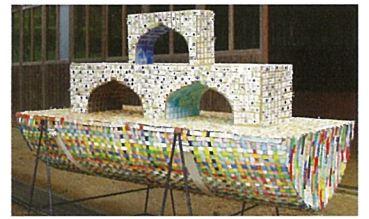
1



2



3



4

①日比野克彦 幼稚園時代の作品 ③日比野克彦 《2010.5.21 PARIS 16》2010年
②日比野克彦 《PRESENT SOCCER》1982年 ④日比野克彦 《FUNE ウズベキスタン》2006年 ©西田佳世

主要出品作品

- 日比野克彦 公開制作作品
公開制作「on side line off side line (オンサイドライン オフサイドライン)」にて制作される作品
- 日比野克彦 代表作
アートプロジェクトでのワークショップ作品《FUNE ウズベキスタン》
ダンボールアート作品《PRESENT SOCCER》
舞台美術 野田秀樹の演劇「ゼンダ城の虜」の緞帳など

- 日比野克彦 幼少期の作品
幼稚園時代に制作した絵画や小学生時代の詩など、初公開作品
- 川崎市で発掘された縄文土器
- 「岡本太郎現代芸術賞」太郎賞受賞者の作品
岡本太郎の精神を継承する若いアーティストたちの作品
前期（7月20日～8月30日）：関口光太郎（第15回受賞者）
後期（9月3日～10月6日）：オル太（第14回受賞者）

イベント

on side line
off side line

日比野克彦 公開制作「on side line off side line」

会場：川崎市岡本太郎美術館 企画展示室
日時：2013年7月12日（金）・7月14日（日）・7月17日（水）
各日 13:00～16:00
観覧料：無料（常設展示室をご覧の際は別途入館料）

関連イベント

- 「ハートマークビューイング」
日比野克彦による東日本大震災復興支援活動のひとつ。展示室にて布にハートマークを縫い付けていきます。会期中毎日14:00から16:00まで参加・体験できます。
- 「巨大 TARO めりえに挑戦！」
岡本太郎彫刻作品がプリントされた縦1m35cm×横6mの大きなめりえシートが登場します。会期中毎日12:00から14:00まで参加・体験できます。
- 「第15回 岡本太郎現代芸術賞」太郎賞受賞者・関口光太郎 ワークショップ
「新聞紙とガムテープがアートになる！」
日時：8月18日（日）、8月20日（火）各日10:00～12:00、13:00～16:00
開催中は自由に立ち寄り参加・退出できます。
- 「第14回 岡本太郎現代芸術賞」太郎賞受賞者・オル太 ワークショップ
「ドキンゲンをつくらう！」
日時：9月14日（土）、9月15日（日）各日13:00～16:00
定員：15名程度（事前予約制。ご予約の詳細は当館ホームページをご覧ください。）



関口光太郎



オル太

関連イベント詳細は
ホームページにて。

<http://www.taromuseum.jp>



交通

- 小田急線向ヶ丘遊園駅南口より
— 徒歩17分
— 同駅南口からバス3分（5番のりば・溝口駅南口行・溝19系統）
「生田緑地入口」下車徒歩8分（1時間1-2本）
— タクシー4分（日本民家園前下車）徒歩5分
- 車利用の場合は、東名高速川崎ICより10分、または府中街道「稻生橋」から2分（生田緑地東口駐車場をご利用ください）

川崎市岡本太郎美術館

Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

〒214-0032 川崎市多摩区枳形7-1-5 TEL: 044-900-9898
<http://www.taromuseum.jp>

◎同時開催常設展 「太郎と遊ぶ—自由の実験室—」
2013年7月11日（木）～10月6日（日）